

内航船舶輸送統計速報 (令和 5 年 10 月分)

1. 概況

総輸送量は、24,876 千トン（前年同月比 11.2%減）、12,446 百万トンキロ（前年同月比 12.4%減）であり、大型鋼船は 16,415 千トン（前年同月比 11.1%減）、9,107 百万トンキロ（前年同月比 12.6%減）、小型鋼船は 7,351 千トン（前年同月比 11.2%減）、3,128 百万トンキロ（前年同月比 11.8%減）であった。

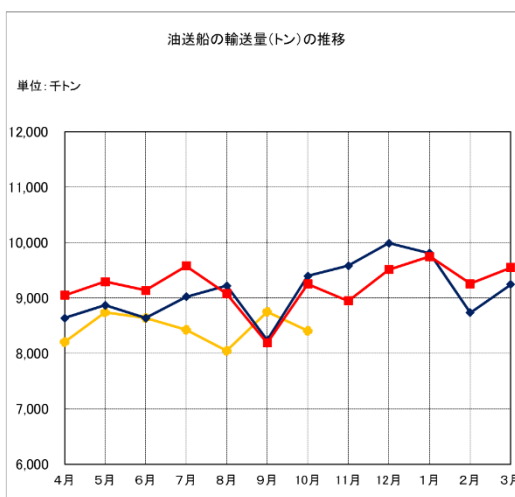
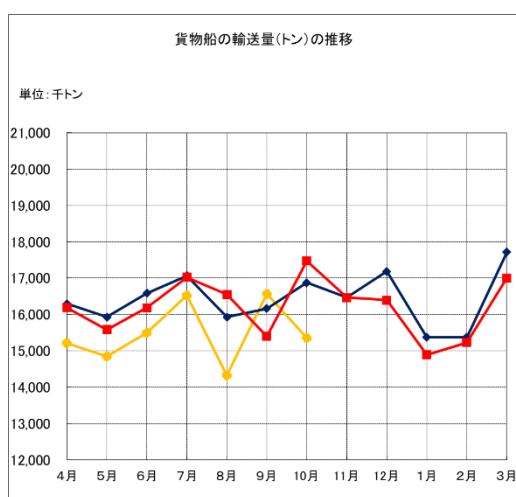
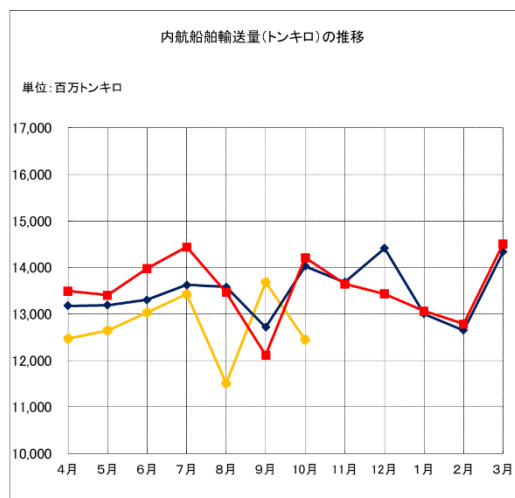
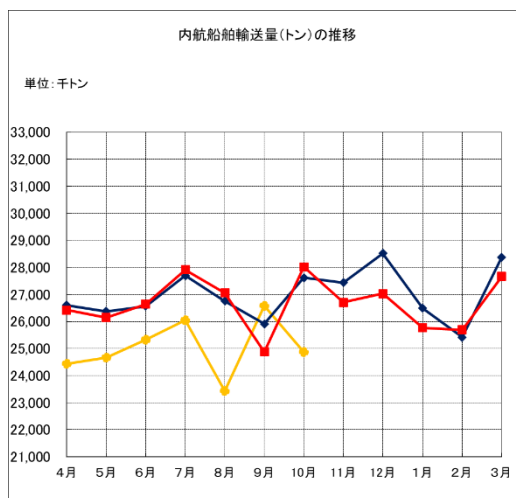
貨物船は 15,362 千トン（前年同月比 12.1%減）、8,091 百万トンキロ（前年同月比 11.4%減）であった。

油送船は 8,405 千トン（前年同月比 9.2%減）、4,144 百万トンキロ（前年同月比 14.3%減）であった。

プッシュャーバージ・台船は 1,109 千トン（前年同月比 13.7%減）、210 百万トンキロ（前年同月比 15.1%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	24,876	88.8	12,445,516	87.6
大型鋼船	16,415	88.9	9,107,121	87.4
小型鋼船	7,351	88.8	3,128,036	88.2
プッシュャーバージ・台船	1,109	86.3	210,356	84.9
貨 物 船	15,362	87.9	8,090,659	88.6
油 送 船	8,405	90.8	4,144,497	85.7
プッシュャーバージ・台船	1,109	86.3	210,359	84.9



凡例： ◆ 令和3年度（2021年度） ■ 令和4年度（2022年度） ● 令和5年度（2023年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-743）

担当：染谷、木綿